

2025年  
6月号

## あいの実 小平通信

梅雨の時期です…

早めのカビ対策と夏休み対策を…



アジサイがきれいに色づき始める季節となりました。

事業所の壁面の飾りや各事業所のフロアもすっかり梅雨仕様になっています。

あっという間に季節は移り変わり気候の変化はありますが、体調管理に気を付けながら  
今月も楽しんでいきたいと思います。

## ～職員紹介～



障害通所 看護師 **大川光加**  
 みなさんと一緒に楽しく笑顔のある場を作りたいです。  
 よろしくお願ひいたします。

## ～委員会報告～

開催日：5月23日

「虐待防止・身体拘束適正化委員会」が開催されました。法人内の全13事業所から管理者が出席し、虐待に発展しそうな事例や現在問題となっている事例、取り組みなどを共有しました。

ご利用者の皆様が安心安全に生活できるよう今後も努めて参ります。気になったことやお気づきの点がございましたら、ご利用の事業所へお声かけください。

職員  
コラム

## おはなしの実

先日、子供の水筒のパッキンを見ると…「君はいつからいたのかな？昨日洗った時もいらっしゃいましたか？」そうです、カビ君です。カビの繁殖条件には20°C～30°Cの気温、湿度、栄養、酸素…水筒の中はとっても住みやすい環境であったことでしょう。でもごめんなさい！退治させていただきます！

今回はよく発生するパッキン部分のカビ取りについて3パターン程ご紹介いたします。



①酢を倍量の水で薄めて  
スプレーで吹きかける



酸素系漂白剤

①ボウルにお湯を入れる



塩素系漂白剤

①塩素系漂白剤を染み  
込ませたキッチンペー  
パーでパッキンを覆う

③重曹を振りかけて再度①を  
吹きかけて放置(10分程度)

②歯ブラシやスポンジでこすり放置  
(10分程度)

②酸素系漂白剤を入れて、  
ゴムパッキンをつけおき  
(30分程度)

③こすり洗いをして流す

③洗い流して乾燥

③包みを外してスポンジ等  
でパッキンの汚れをとる

④洗い流して乾燥

カビ発生を防ぐにはなるべく簡素な作りの水筒がおススメです。でも…どうしてもカビが落ちない時には思い切って買い替えるのもありかもしれませんね！我が家では小学生組が一年間でボコボコにしてしまうので消耗品です…戦場に持ち込んだのかな？と思っています。